会議名等	令和８年度第２回奥州市男女共同参画推進委員会
日　　時	令和８年 10 月 21 日（水）午後２時から午後３時 20 分まで
場　　所	江刺総合支所 213 会議室
出 席 者	○　奥州市男女共同参画推進委員会委員　12 名 ○　事務局　２名

１　開会

２　あいさつ　佐々木委員長

本日は市で策定を進めている第３次男女共同参画計画の草案について協議する。忌憚のない意見をお願いしたい。

３　報告

令和８年度奥州市男女共同参画に関するアンケート結果について《事務局説明》

４　協議

第３次奥州市男女共同参画計画（草案）について《事務局説明》

【質疑概要】（計画案に関する内容）

○塚本委員

冒頭に「少子高齢化」という言葉があるが、少子化の問題と高齢化の問題は切り離して考えるべきなので、「少子化」、「高齢化」と分けて欲しい。少子化は非常に深刻な状況にある。それを高齢化とひとくくりにすべきでない。

○事務局

切り離して記載する方向で検討する。

○山下委員

政策決定の場への女性の参画について、女性参画が過少なことを女性の参画意識の問題だけに矮小化する捉え方は若干表面的である。参画したいと思えるような環境整備等についての加筆を検討してほしい。

また、審議会等への女性の参画を推進するには、まずは審議会委員の選定にあたる事務局の意識と委員を送り出す関係団体の意識の醸成が大切である。よって、背景要因である関係する人たちの意識改革や制度改革についての加筆も検討してほしい。

○事務局

検討させていただく。

○委員長

性に対する理解の促進として性教育の記載があるが、人権に基づいた性教育として「包括的性教育」とするよう検討してほしい。

○事務局

担当課と相談させていただく。

○山下委員

「性の多様性の尊重」を特出ししたことは、国の法整備等の動向を踏まえても適切な判断である。内容的に、少数派の性のあり方も含めた性の多様性について理解が広まることが期待されていると見受けられるため、見出しを「性の多様性の理解と尊重」としてはどうか。

○事務局
　検討させていただく。
○山下委員
　人道支援の国際基準であるスフィア基準の中にジェンダー平等に基づく防災というのがあり、性的マイノリティの人たちも含めた様々なマイノリティの人たちの視点に立った防災について書かれている。多様な視点を反映した防災対策が追加されており、それらが踏まえられた加筆になっている。
○事務局
　先日行われた男女共同参画推進本部会議でプラン名称の変更についての意見が出された。男女に留まらず多様性を尊重するとされる時代に見合った名称となるようにとのことで、本日「奥州市ジェンダー平等推進プラン」と、条例名に合わせた「奥州市男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくり推進計画」の２点を提案させていただく。
○夏井委員
　条例名だと、今後何かを追加しようとした際にさらに長くなってしまうので、ジェンダー平等として、今後の変更は概念的にジェンダーに含まれるとしたほうがスマートではないか。
○塚本委員
　条例名に合わせた名称には反対である。
○委員長
　「奥州市ジェンダー平等推進プラン」ということでよろしいか。
○委員
　（一同、同意）

《承認》本日の意見を受けて草案を修正しパブコメに進むということで承認

５　その他
　なし

６　閉会

以上